

マルチメディア班

井上 晟伍 今廣 里子
大久保 颯 小笠原 拓巳
玉坂 幸己 幸田 歩大

1. まえがき

情報技術科 PR 動画を作ろうとしたきっかけは、2 年生に、3 年生が行なっている課題研究の様子を届けたいと思ったからだ。

3 年生で行なう課題研究は、2 年生のときの課題研究の経験を活かして、計画的に行うことができるから、自分たちが作りたいものを、効率良く作ることができると思う。

ストップモーションという動画を作ろうとしたきっかけは、印象的な演出を使って、面白おかしく学校を紹介したいと思ったからだ。

2. 原 理

(1)情報技術科 PR 動画

課題研究で"aviutl"という編集ソフトを使って、学校 PR 動画を作成した。

(2)ストップモーション

ストップモーションとは、静止している物体を 1 コマ毎に少しずつ動かし、カメラで撮影しあたかもそれ自身が連続して動いているかのように見せる動画のこと。コマ撮りともいう。

3. 研究内容

(1)情報技術科 PR 動画

各班を紹介するときに、どのように撮るのか、アナウンスの有無など、細かいところまで話し合った。

動画を撮影するにあたって用意したもの

- ・iphone
- ・aviutl
- ・G-mail
- ・マイク

次に、素材動画を撮りに各部屋へ行った。

各班の人達に作業工程を聞いて、自分たちでそれをまとめて、アナウンスを入れる際の参考にした。



図 1 素材動画のサムネイル

①素材動画を繋げる

撮影した動画を、動画編集ソフト"aviutl"で繋げて、1 つの動画にした。

その際に、アングルなどの確認をして、角度が悪かったところは、再度撮影に行った。

②動画の挿入

撮影した動画を編集ソフトに入れるために、"aviutl"を開いて、「拡張編集ウィンドウ」を開く。その後、開いた動画を Layer1 に追加した。

③字幕の作成

字幕を挿れるために、メディアオブジェクトの追加からテキストの追加をクリックする。その後、テキストの原型が表示され、そこからテキストカラーを変えたりして字幕を作成した。

場面によって、字幕のフォントを変えたりする必要があったため、どのフォントにするかも良く考えた。

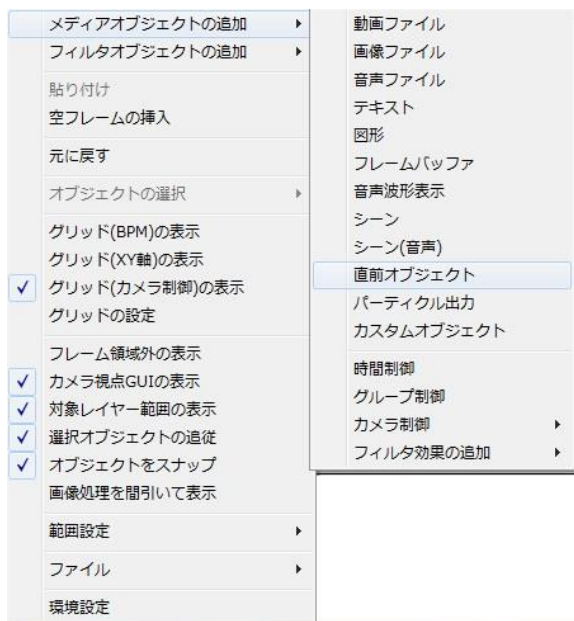


図 2 編集時のウィンドウ

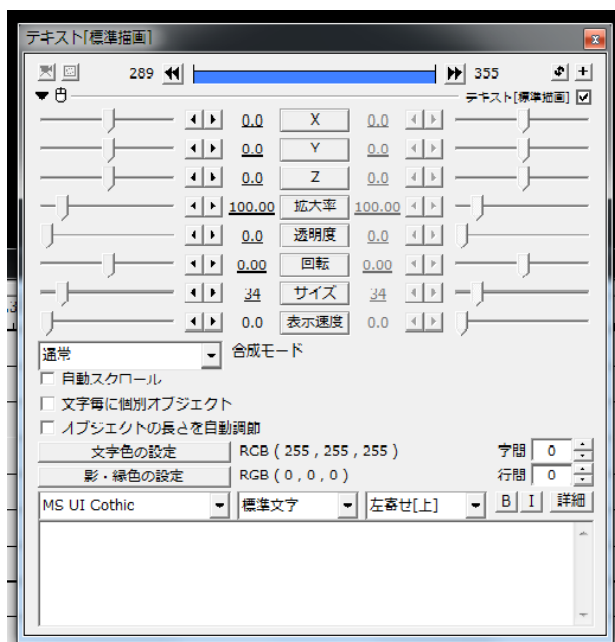


図 3 テキストの編集画面

④カット・ワイプなどのエフェクトを入れる

動画の場面に応じて、ワイプを入れて見やすくしたり、要らないところをカットしたりした。ワイプは、イン(ワイプに入るときの時間)とアウト(ワイプが終わるとき)の時間も設定できるので、使い分けて編集した。

動画の出力するときの拡張子は"avi"で出力した。

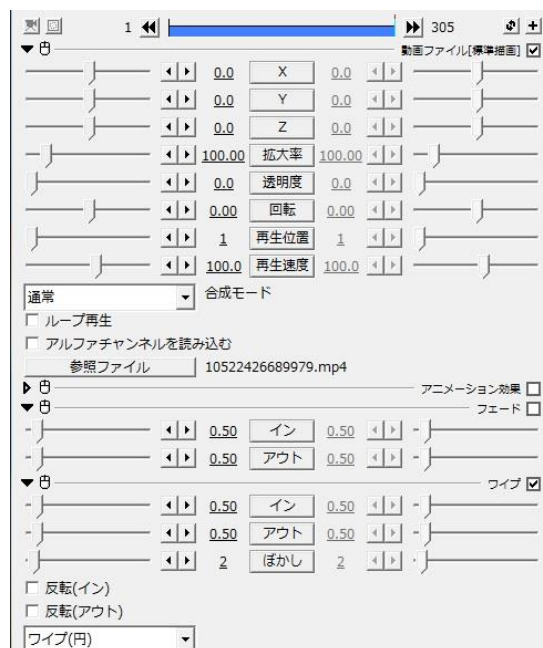


図 4 カット・ワイプの編集画面

(2)ストップモーション

①ストップモーションの写真の撮影

学校のどこで写真をどのように撮影するのかを、ストップモーション作成係の三人で話し合った。話し合いが終わったら、撮影を行なうため、ピロティに向かった。

撮影者と被写体を少しずつ動かして、場所の調整などを細かく行なった。

②動画の編集

動画の編集する際に使用した編集アプリは、"iMovie"を使用した。

編集の作業工程としては、撮影した写真約 300 枚を動画編集アプリに読み込み、デフォルトで付いているエフェクトを消したり、写真を動画内で流す時間を調整した。その際に、写真をすべて同時に編集することができなかったため、一枚一枚画像の設定を自分たちで行なった。

次に、写真の感覚は 0.4 秒にして、被写体ができるだけずれないように、写真をセンタリングした。その後、動画にあう BGM を選んで動画を作成した。動画を出力する際に、解像度を"4K"で出力した。

動画の冒頭と末尾に画像を挿入したが、その編集に"ibisPaint X"を使用した。

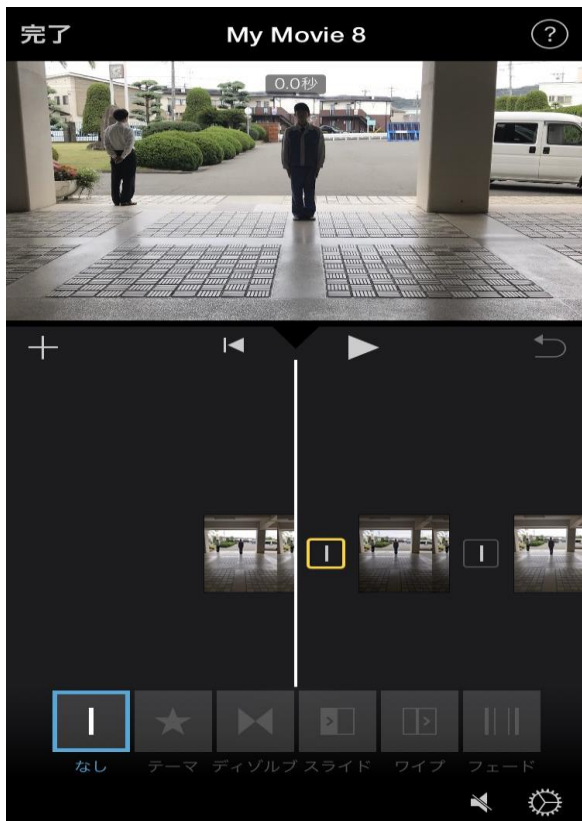


図 5 編集の時の iMovie の画面

4. まとめ

写真の撮影や動画を作るときに、どの道具を使って撮るかなど、ベースとなる部分があまり決まっておらず、いざ撮影するときに戸惑ってしまった。しかし、班員で互いの意見を出し合い、一つのものを作り上げることが出来たから、良かったと思う。この動画を作る際に苦労した点は、動画を作る際の役割、それぞれの仕事量が不平等になってしまったことだ。一つ一つの作業に時間がかかってしまい、作業が遅れてしまった。ですが、全体的に工夫して動画作成することができた。例として、ストップモーションの作成の際に、写真を繋げて動画を作るということに着目し、ユニークな動きを演出したことだ。

5. あとがき

初めて作成する動画で、自分の役割をきちんとこなせるか不安だったが、実際にやってみると、どのように工夫したらいいかアイデアが浮かんできて、動画作成に貢献することが出来た。
(小笠原 拓巳)

私は主に、ストップモーションの作成をした。初めてすることで、できるか分からなかったが、うまく出来たのでよかった。編集の時に、予想以上に写真が多くて大変だった。(大久保 颯)

私は、課題研究全体の流れを考えて、作業が効率よく進むように考えたり、ストップモーションのカメラマンをした。何もかもが初めてで不安だったが、無事やり遂げることができた。(玉坂 幸己)

私は主に、ストップモーションのストーリーを考え、班員と協力しながら動画制作に取り組んだ。ストップモーションならではの動きを多く取り入れ、見ていて楽しい動画を目指し、制作に励んだ。(井上 晟伍)

私は主に情報技術科 PR 動画の編集をした。今回の課題研究で初めて編集ソフトを使用したため、わからないことも多く手探りでの作業となった。(幸田 歩大)

私は、担当したアナウンスを頑張った。協力して作品を作ることができた。大変な作業ではあったが、無事期限までに作業を終えることが出来た。
(今廣 里子)

6. 参考文献

iMovie の使い方

<https://douga-tec.com/?p=3750>

動画編集ソフト

iMovie

<https://support.apple.com/ja-jp/imovie>

aviutl

https://filmora.wondershare.jp/ad/video-editor-aviutl/?fm_channel=cpc_google&gclid=EAIaIQobChMlrLaM55-g5gIVVnRgCh08bAW2EAAyASAAEgK9jfD_BwE